

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 やまなみ会

- ・ 特別養護老人ホーム なでしこの里
- ・ ショートステイ なでしこの里
- ・ なでしこデイサービスセンター

I	はじめに	1
II	事業報告	
1	重点項目	
	①特別養護老人ホームなでしこの里	1
	②ショートステイなでしこの里	2
	③なでしこデイサービスセンター	2
2	専門部署	
	①看護部	3
	②栄養部	4
3	防災訓練	5
4	研修	5
III	課題・次年度の提起	5

I. はじめに

なでしこの里においても予防対策の徹底に務めました。特養3ユニット及び2階の有料老人ホーム四季の杜でクラスター感染が起きてしまいました。スタッフも6割を超える陽性者が出ましたが症状のないスタッフは出勤して、スタッフ一丸となり介護の提供に務め勤務体制を維持できました。スタッフからは不満もせず、緊急事態を乗り切ることが出来ました。今回のことを貴重な経験として感染症や災害が発生した場合でも利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供される体制を構築する必要性を痛感しました。また、業務継続のためには介護スタッフの確保が重要でありその一環として特定技能外国人などの制度を活用して4名の実習生を雇用したことはこの非常事態を乗り切るうえで大変有意義となりました。

II. 事業報告

1. 重点項目（目標）

①特別養護老人ホームなでしこの里（定員29名）

ア. ユニットケアの充実と認知症ケアの向上

- ㊦朝礼で利用者の状態等の把握と各ユニット職員間で情報共有を実施。
- ㊧介護支援専門員による利用者の思い等聞き取りを実施し、個別支援計画書の反映。
- ㊨ユニットリーダー研修受講を行いユニットケア・認知症ケアのスキルアップを実施
- ㊩コロナ感染症クラスター発生後は制限付きでの面会を実施

イ. 各ユニット

【うめユニット】

- ・日常生活で出来ることがあれば、職員と一緒に実施。（洗濯ものたたみ等）
- ・リビング以外の居場所作りの実施（廊下等での日光浴、中庭での外気浴）
- ・居室環境の整備の実施（自宅にあった物を居室に飾る等）

【ももユニット】

- ・毎日のリハビリ体操の実施
- ・昔を思い出す懐かしい歌を歌う、動画を見る等の活動の実施
- ・脳の活性化等を行うための活動実施（脳トレ等）

【すみれユニット】

- ・似顔絵や季節を感じさせる工作や観葉植物などをリビングに飾ることで共有スペースをくつろぎの場として提供できるように環境整備を実施。
- ・ウッドデッキを利用した日光浴や外気浴の実施
- ・利用者によるメダカのエサやり、花の水やり等実施

ウ. 事故防止及び身体拘束廃止等の取り組み

- ㊦事故防止委員会、身体拘束廃止委員会を年2回開催。
- ㊧事故報告書や事例を通しての分析や傾向を職員に周知して支援を提供。
- ㊨他者への暴言・暴力がみられる利用者に対しては、事故防止と身体拘束の観点から家族にも同意を取って、支援を実施。

エ. 地域貢献としての役割の推進

- ㊦社会福祉法人利用者負担軽減制度や生計困難者に対する制度を7人に適応。

④地域ケア会議のメンバーの一員として会議に参加。

⑤地域運営推進会議の開催。

オ. 利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
稼働率	98.6	100	100	99.9	100	98.6	99.8	98.4	96.9	96.6	99.0	100

カ. 行事

月	行事内容
5	からいも苗植え（施設全体）、地域運営推進会議、昼食バイキング
7	地域運営推進会議、防災訓練（地震）
8	納涼祭（8/9 施設全体）
9	敬老会（9/16 施設全体）
10	村内外出ドライブ（10/10 うめ・もも・すみれ）、地域運営推進会議
11	野菜収穫（11/3 施設全体）
1	どんどや（1/7 施設全体）、初詣（1/31 施設全体）
2	節分豆まき（2/3 施設全体）、クリスマスプレゼント贈呈式（2/3 施設全体） 地域運営推進会議、防災訓練（夜間想定）
3	おやつバイキング（3/21 施設全体）、高菜折・漬け（3/27 施設全体） ジャガイモ・里芋植え（3/31 施設全体）、家族会総会

②ショートステイ なでしこの里（定員 8 名）

ア. 介護者の都合や疲労等の軽減のための定期的な利用が 3 名定着。

イ. 利用者や家族の急な体調不良で緊急のショートステイ要請時も感染症対策を十分とったうえで積極的に受け入れを実施。

ウ. 認知症の症状が激しく家庭での負担が大きくなったため、行政に相談を行い、特別養護老人ホームへの入所待機の場所として支給限度の 30 日を超えての連続使用を実施。

エ. 利用状況（延べ人数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	157	150	134	135	108	130	132	146	80	88	116	122

③なでしこデイサービスセンター（定員 12 名）

ア. 生活機能の維持・向上に向けた取り組み

⑦体力測定を月 1 回実施し、LIFE のデータの結果を基に利用者の心身機能を把握

⑧リハビリ体操（60 分）を実施

⑨理学療法士や機能訓練指導員により個々に合わせた機能訓練の実施

イ. 認知症の予防・進行予防に向けた取り組み

⑦定期的な MMSE 測定を行い利用者の認知機能状態を把握

⑧脳トレプリント問題・脳トレ体操等、個々のレベルに合わせて実施。

⑨個人の趣味活動等の実施。

ウ. デイサービス平均利用人数（1日あたり）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数	8.0	7.6	7.1	8.8	9.9	9.2	9.6	9.4	9.6	8.2	9.2	9.2

・延べ人数 令和3年2,381名⇒令和4年2,604名

エ. 行事報告

月	行事内容
4	お花見
5	おやつ作り、からいも苗植え（施設全体）、昼食バイキング
8	納涼祭（8/9 施設全体）
9	敬老会（9/16 施設全体）
11	野菜収穫（11/3 施設全体）
1	どんどや（1/7 施設全体）、初詣
2	節分豆まき（2/3 施設全体）、クリスマスプレゼント贈呈式（2/3 施設全体）
3	おやつバイキング（3/21 施設全体）、高菜折・漬け（3/27 施設全体） ジャガイモ・里芋植え（3/31 施設全体）、家族会総会

2. 専門部署

①看護部

ア. 新型コロナ感染対策

㊦ コロナ予防接種の実施

・入所者と職員全員（事情がある場合を除く）にコロナ予防接種4回目と5回目の接種を実施

㊧ 毎日の利用者・職員の検温等の実施

㊨ 定時の施設内の消毒実施

㊩ コロナ感染症クラスターの発生

- ・令和4年12月14日有料老人ホーム四季の杜入所者が陽性となったのをきっかけとして四季の杜、特養のすみれユニット、ももユニット、うめユニットと感染拡大。
- ・り患状況は、職員は35人中19名、有料入所者は9人中7名、特養入所者は29名中20名陽性、短期入所利用者1名
- ・入院者はおらず、施設内療養を実施。

イ. 入所者及び職員の健康管理

㊦ 定期診察及び健康相談は、毎月3回嘱託医の坂梨ハートクリニック坂梨医師が来所して実施。㊧ 血液検査等は8月と3月の年2回、胸部X-Pは10月に実施し判定を嘱託医に依頼。

㊨ 職員健康診査及び腰痛予防検診は10月、3月は夜勤に携わる職員を対象に実施。

ウ. 入院、外来受診状況

㊦ 入院は延べ20名であり心不全が6名、肺炎疑い3名、大腿骨骨折2名、完全房室ブロック2名、脳梗塞1名、検査入院5名。

④外来受診状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
坂梨ハート	1	1	2		4	4	5	1	3	1	0	1	23
市原胃腸科外科	3	1	2	2	2	1	2	1	1	2	1	1	19
阿蘇医療センタ		1						1					2
安西皮膚科					2								2
セントラル病院							2	1	1	1	1	1	7
大阿蘇 HP 整形							1	1		1			3
古嶋眼科								1	1	4	1		7
菊池病院										1	1	1	3
きずな歯科	7	5	3	7	3	2	4	5	5		7	7	55
菊陽病院				1									1
熊本日赤病院							1						1

エ. 身体機能の維持向上

⑦ケアプランに沿って介護職と連携しながら離床や着衣、排泄、口腔ケアなどの日常生活動作の中で出来るだけ自分で出来ることは自分ですよう促し援助を実施。

⑧機能訓練は訓練計画表を確認して入所者全員に訓練を実施。

⑨PT に月 2 回訪問してもらいリハビリ・スタッフへの指導・3 か月ごとの評価の実施。

オ. 看取り介護について

⑦今年度は施設で 2 名の方の看取りを実施。(看取り期間は 9 日と 13 日)

⑧コロナ禍ではあったが、看取り利用者の家族の居室内での面会を実施。

⑨好きだった日本酒を少し口に含ませたり居室に音楽を流したり、本人の好きな活動の実施。

②栄養部

ア. 栄養・給食管理

⑦嗜好調査を 6 月と 12 月に実施、献立等に反映。

⑧利用者の状態に応じた食事形態を看護・介護職と相談しながら適宜変更。

⑨残食の状況(平均残食率：%)は平均 10%を下回った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
朝食	1.2	1.4	1.6	2.2	2.2	2.8	2.3	2.1	2.4	1.9	2.8	2.6
昼食	4.2	4.9	5.7	6.8	7.0	6.6	4.9	5.3	5.2	5.2	4.7	4.8
夕食	5.8	6.4	7.7	9.2	8.2	8.5	6.9	6.9	6.5	6.0	6.3	7.0

⑩季節を感じられるよう旬の食材を取り入れて、行事食では毎月実施。

イ. 衛生管理

⑦職員個人の衛生管理と手洗い・アルコール消毒を実施。

⑧食中毒予防で食材管理と殺菌消毒や温度管理を実施。

ウ. 利用者との関わり

- ⑦月に数回ご利用者と野菜の皮むきを一緒に実施。
- ④5月には昼食バイキングと3月におやつバイキングを実施。

エ. 地産地消

- ⑦ご家族または地域の方に頂いた、茄子や胡瓜、白菜や大根等調理して提供。
- ④お米は村の方から仕入れを実施。

オ. 非常時の体制

- ⑦備蓄食とディスプレイ食器の管理（消費と補充）を実施。
- ④施設内のコロナクラスター発生時には、感染者は弁当箱及びディスプレイ食器を使用し対応。
- ⑦消費期限の近い備蓄品を使用して、特養各ユニットで食事の提供訓練を実施。

3. 防災訓練

- ・5月に避難訓練（地震想定）
- ・2月に避難訓練（夜間想定）

4 研修

①施設内研修

月	内 容
7	感染予防対策について、ガウンテクニックの実技指導
9	権利擁護推進研修
12	感染症予防
1	身体拘束廃止に向けた基本的理解
2	介護施設での看取り、モチベーションアップ研修
3	介護支援専門員阿蘇支部研修、地域版事例検討会（認知症研修）

②施設外研修（資格取得研修）

研修名	研修期間	職員
介護福祉士実務者研修	R4/8/28～R4/11/28	井 玲弓
介護福祉士実務者研修	R4/8/28～R4/11/28	三宅 里子
ユニットリーダー実地研修	R4/10/3～R4/10/5	西田 龍世
ユニットリーダー実地研修	R5/1/24～R5/1/26	江藤 雅也
ユニットリーダー実地研修	R5/2/14～R5/2/16	高橋 逸生
ユニットリーダー実地研修	R5/3/8～R5/3/10	岩本 大樹

III 課題・次年度の提起

新型コロナウイルス感染によるクラスター発生の経験をいかし、安心安全の暮らしが提供できる施設運営を目指します。職員の資格取得・研修の機会を多く持ちユニットケアを充実していきたいと考えています。また外出行事・交流等を多く取り入れて、楽しい生活が提供できるよう支援を行っていく予定です。